

福島医大 医学生通信

Vol. 8
2018年1月



新年あけましておめでとうございます

福島県立医科大学医学生通信です！本年もどうぞよろしくお願いたします。



ステップ・アップ・セミナー

【1月のステップ・アップ・セミナー】

- 1/10 救急部門勉強会（内科緊急）
- 1/16 総合内科レクチャー
- 1/31 救急症例検討会



入院患者さんの『発熱の見方』を勉強しました！



ステップ・アップ・セミナーの様子



救急部門勉強会は来月が今年度ラストとなります！

福島県立医科大学附属病院では
充実した研修環境が整っています！

part 7

附属病院棟の最上階にあり、病棟に近く、同フロアに様々な設備が整っています。

図書室



研修医用の図書室を設置しており、自由に利用できます。その他、大学の図書館及び各電子ジャーナルも利用でき、学習環境が整っています。



たすき掛け研修の魅力

私は一年目の研修を福島医大病院、二年目の研修を福島赤十字病院で研修しました。たすき掛けプログラムを選択した理由としては以下の3つです。

- ① 市中病院で二次救急を経験してみたかった
- ② 市中病院での働き方を知りたかった
- ③ 多くの症例を勉強したかった

①に関しては医大病院では日当直で walk in の患者を診察しますが、福島赤十字病院では walk in + 救急車の両方を診察することができました。心筋梗塞や脳出血、脳梗塞、交通外傷などは救急車で搬送されることが多く、walk in だけでは経験数に限界があります。より多くの救急対応を経験できたことは将来どの科に進んでも役に立つと思います。

②に関しては市中病院で医師としてどのように働くのかを知ることができました。新専門医制度の開始に伴ってほとんどの医師が大学医局に入局すると思いますが入局すると市中病院へ赴任する時期が必ずあります。大学病院と市中病院では患者数、対象疾患、日当直数、処遇などが大きく異なります。市中病院で働く医師のリアルを知ることができ良かったと思います。



研修医2年次 浅野 太志 先生
(福島県立医科大学出身)

③に関しては市中病院のほうがより common な疾患を経験する機会が多いです。私は将来精神科に進もうと考えていますが、精神科の症例においても症例数や症例の幅が大きく異なります。具体的には大学病院は摂食障害や小児症例が多く、市中病院では統合失調症やうつ病、認知症がメインです。幅広い疾患を経験したことで将来のサブスペシャリティを考えるうえで大いに参考となりました。

たすき掛け研修には多くのメリットがあります。医師の数が多い大学病院でのみ研修していると気づきにくい医療の問題点や地域医療での役割などを早いうちから経験することで自分の将来像をより明確にすることができます。

以上をたすき掛け研修を選択する際の参考にさせていただけると幸いです。

病院見学も随時受け付けています！

※12/29～1/3及び土日祝日は病院休診の為、見学できませんのでご了承願います。

☆卒後臨床研修病院HP☆

<http://www.fmu.ac.jp/home/anzen/sotugo/visit/>

お申し込みは
こちらから

お問い合わせ

福島県立医科大学 医療人育成・支援センター

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

TEL:024-547-1047 (直通) FAX:024-547-1715

E-mail: cmecd@fmu.ac.jp / HP: <https://www.fmu.ac.jp/home/cmecd/index.html>

医療人HP

